

農林水産分野のロシアにおける NEXIの取組について



株式会社日本貿易保険

1. 日本貿易保険（NEXI）の概要

【組織概要】

○設立根拠法：貿易保険法

○設立：2017年4月1日（注）独立行政法人から株式会社化

○役職員数：195名（2019年4月1日時点）

○事業拠点：本店（東京）、大阪支店

海外拠点；3カ所（パリ、NY、シンガポール）

○資本金：約1,700億円（全額政府出資）

2. 貿易保険の対象となる事業活動と引受リスク

〈保険の対象となる取引〉

- 輸出
- 投資(株式の取得、不動産等の海外資産の取得)
- 融資 等

〈引受リスク〉

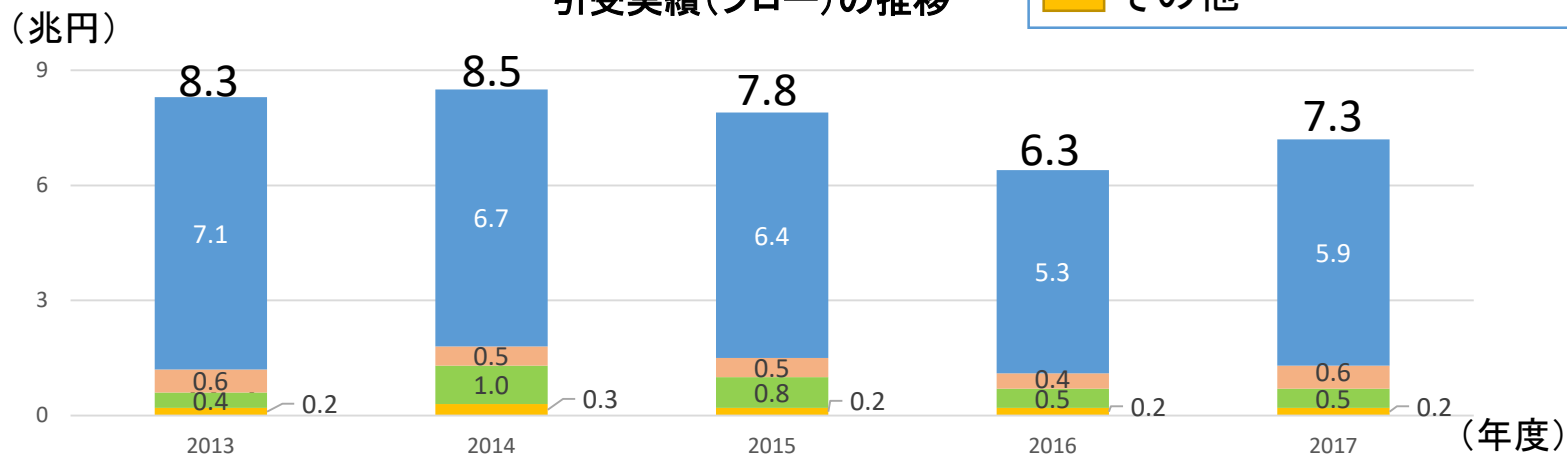
- 非常リスク: 契約当事者の責めに帰することの出来ない事由
 - ✓ 相手国政府による権利侵害・規制(収用、送金規制、輸出入規制等)
 - ✓ 相手国政府に対する経済制裁
 - ✓ 戦争、内乱、暴動、テロ
 - ✓ 自然災害(洪水、津波、地震等)
 - 信用リスク: 取引相手方の責めに帰する事由
 - ✓ 取引相手方の破産等
 - ✓ 3ヶ月以上の履行遅滞
- (注) てん補するリスクは保険種により異なります。

3. 貿易保険の引受実績

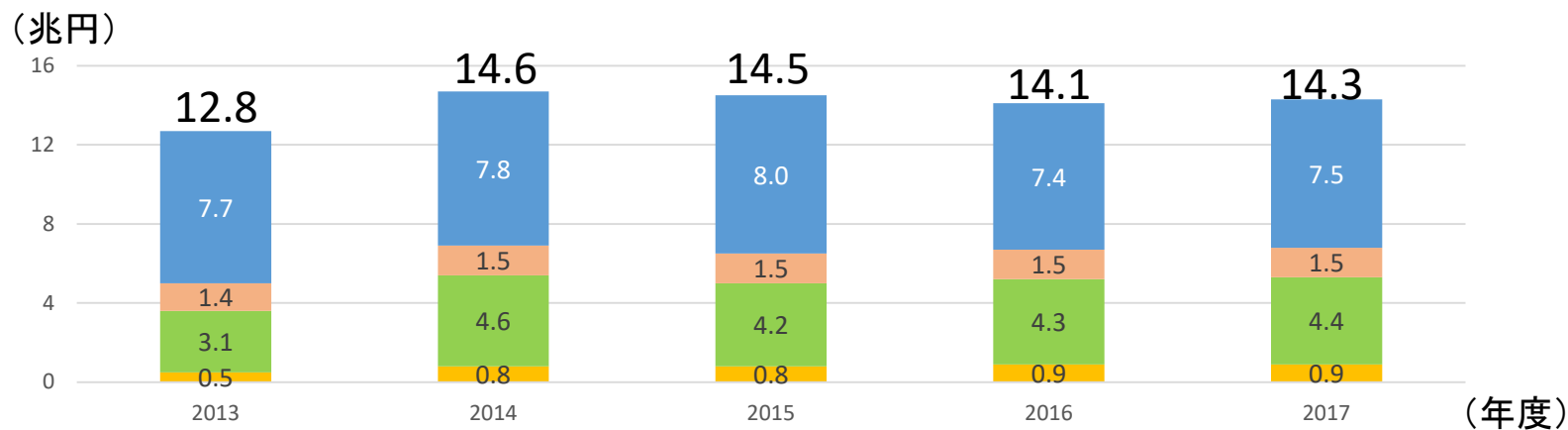
凡例

- 日本からの輸出に対する保険
- 企業の対外投資に対する保険
- 銀行等の融資に対する保険
- その他

引受実績(フロー)の推移



責任残高(ストック)の推移



4. 主な貿易保険商品と農林水産関連活用事例



NEXI

Nippon Export and Investment Insurance

**責任残高
14.3兆円**

(2017年度末時点)

日本からの輸出に対する保険【残高：約7.5兆円】

引受リスク：非常リスク、信用リスク

農業関連活用事例：農業機械、農林水産品、酒類等の輸出

企業の対外投資に対する保険【残高：約1.5兆円】

引受リスク：非常リスク

農業関連活用事例：冷凍庫倉庫事業、養殖事業等への出資

銀行等の融資に対する保険【残高：約4.4兆円】

引受リスク：非常リスク、信用リスク

農業関連活用事例：大豆やトウモロコシ等、調達取組の強化が重要とされている製品の調達に関する融資

5. 農林水産分野のロシア向け具体事例

JA秋田おばこのロシア向け精米輸出

保険契約締結：2016年8月

相手先：ロシアのバイヤー

利用保険種：中小企業・農林水産業輸出代金保険

輸出契約額：約200万円

野菜工場の建設プロジェクト向け温室資材輸出

保険契約締結：2017年8月

被保険者：北海道の総合商社

相手先：ロシアのバイヤー

利用保険種：貿易一般保険

輸出契約金額：約1億2千万円

ロシア向け日本酒輸出

保険契約締結：2018年9月

被保険者：新潟県の酒類卸売業者

相手先：ロシアのバイヤー

利用保険種：中小企業・農林水産業輸出代金保険

輸出契約金額：約120万円

6. ロシア向けその他の取組

- ロシア向け貿易保険は、年により変動はあるものの直近3年度は500～1,000億円程度引受。

アルファバンク向けクレジットライン創設に向けた覚書

- 日系企業のロシアにおける事業活動支援を目的とする、ロシアの地場銀行アルファバンク向けクレジットラインを三井住友銀行と共同で創設。（右図参照）
- 別途、日本からのロシア向けの輸出支援を目的とする、輸出クレジットラインを株式会社国際協力銀行（JBIC）三井住友銀行と共同で創設。



EXIARとの再保険協力

- 2016年12月、NEXIはロシア輸出・投資保険機関のEXIARと再保険協定を締結。
- 2017年5月、EXIARが引受を行った在ロシア日系自動車メーカーによる、周辺国への輸出に対する貿易保険について、NEXIが再保険を引受。
- 2018年6月、モスクワにて現地日系企業向けに、再保険協定を活用した支援策に関するセミナーをEXIARと開催。

SUEK社との協力のための覚書の締結

- 2019年6月、ロシア最大の石炭生産・輸出企業であるSUEK社との間で、協力覚書を締結。
- 両社の経験及び専門性を相互に活用できる情報交換の枠組みを構築することや潜在的な本邦企業との協業プロジェクト特定を目指す。